



着馴れたシャツのような  
心地良さと寛ぎ感が決め手。

Yさんご夫妻が家づくりを意識したのは、結婚後すぐの頃。それから自然木に出会うまで様々な家を見てきたそう。「ある日、他社のオープンハウスを見学した帰りに自然木のほりを見つけて。フラリと訪ねたら大工さんがいらっしやったので、8割がたできていた家を見せてもらいました」とご主人。その時、ご夫婦ともに「ここだ!」という予感が。

決め手になったのは、同社の建てた家へ家族で出かけたときのこと。居心地の良さに驚くと同時に、息子さんたちが床の上でゴロゴロと寛いでいるのを見て、「子どもたちも気のびのびと育つのではと思ったんです」。

家族がいつの間にか集まる  
茶の間的な要素を組み込む。

思い描いていたのは、家族がいつも一緒に過ごせる住まい。当初から平屋建てを希望していたものの、どうしても暗くて風通しが悪くなるのではという不安も。そこで、「明るく、風通し良く、家族の気配を感じられること」をテーマにして着手。

キッチンを中心に据えた間取りは家のどこへ行くにもアクセスしやすく、特に家事をこなす際に威力を発揮する。キッチン横のダイニングスペースは食事の場所と限定させるのではなく、壁に書棚やデスクを設けて多目的に使える「茶の間的」な空間に仕上げている。子どもたちの宿題やちょっとした調べものなどでもできるので、自然と家族のたまり場に。

家族の気持ちにそっと寄り添うような  
やさしさと質感、快適さが魅力。

建築工房 自然木(じねんもく)

<http://homepage2.nifty.com/jinenmoku/> 木造軸組在来工法 霧島市 Y邸

housing report

13

隼人の家 no. 1/3

かごしま家づくりの本Vol.22('10春) 70



Family Voice

子どもたちと一緒に過ごす時間を大切に考えた我が家。野菜を育てたり、収穫して食べる喜びを分かち合うことも実現できました。家の外でも内でも、飾らずに私たちが暮らしたい暮らしができる素敵なお家です。

個性ある庭づくりで  
安らぎと潤いを演出。

Y邸に何って感じしたのは「潤い」。ナチュラルな質感の家で、どちらかと言えばさりりとしたイメージなのだが、過ごしていると気持ちごとん満たされてくる。理由はきつと木の素材感と多彩な花木で彩られた「庭」。真上から見ると十字形をした建物の方々に個性豊かな庭が設えてあるのだ。なかでも北側の坪庭は、同社の村田社長が「これが鍵」というほど重要なポイント。通常なら北側の土地は潰してしまいがちだが、居室の奥行きを演出するにも、隣家とのほど良い距離感を作るにもってこい。浴室からも眺められるこの坪庭はちょっとした自慢なんだとか。南北に開放されたリビングには、しつとりと穏やかな風がそよいでいた。



2



3



5



4

1. 昔の「茶の間の的」な使い方ができるダイニングスペース。中途半端にならないよう、壁をたっぷり使った書棚や収納をリグエスト。2. 通路に面したアプローチは開放しながらも植栽でうまく目隠しを。木々は夏に木陰を作り、涼し気な演出にもなる。3. リビングやダイニングの天井は、昇りど平を組み合わせた和室の天井と連続性を持たせたデザイン。埋め込みの照明でさらに空間がスッキリ。4. 吹き抜けにハイサイドライトを設けてあるので、センターキッチンでも明るく快適。空間全体が見渡せるのも子育て世代には魅力と言えそう。リビングやロフトを必要に応じて仕切れるので、薪ストーブでの暖房も効果的。5. キッチンからダイニングは一目瞭然。炊事の間もコミュニケーションを取るのがカンタン。6. 住宅とカーポートが一体化。現代版の馬小屋的な存在で、野菜などを干したり餅つきをしたり多目的に使える。



6

自然素材の持ち味と  
高い性能でより快適に。

同社が提案するのは地産地建の住まい。社名の通り、自然素材を用いた家づくりは、アレルギーを持つ奥様も「安心して暮らせませす」と太鼓判。4月に入居してひと夏を過ごした感想は「梅雨時も湿気を感じなかったし、閉め切っても外出しても帰ってきたら何故か部屋がヒンヤリして驚いた」と、快適だった様子。木材の調湿作用でドライ効果が得られることや、セルロースファイバーを使った断熱で次世代省エネ基準の性能があるのも理由の一つだ。夏期の熱抜きを考慮して、ロフトには雨の日、夜も開放できるジャロジー窓を設置。冬期はワンルूमタイプのメリットを生かして、リビングの薪ストーブで暖を取る。

憧れのライフスタイルを  
日常に取り入れられる住まい。

スッキリとした空間は造り付け収納のたまたもの。家事も料理もこなすご主人は「掃除がしやすく助かります」とニッコリ。LDKはほとんど間仕切りがなく、南北に大きな開口(窓)を取っているのでもともと良く風が通る。雨が降っても窓を開けられるように軒を深くするなどの工夫も。南側のメインガーデンに面したウッドデッキは、リビング・和室・子ども部屋をL字につなげている。連続性はあるが、高さや幅を変えてシチュエーションに応じた使い方ができるのも面白い。憧れていた菜園にも挑戦し、育った野菜を子どもたちが摘んでそのまま朝食で食べるなど成果も楽しんでいるそう。



1



3



2



5



4

1. 和室・リビング・子ども部屋をL字でつなぐウッドデッキはバリエーションに富む。雨や直射しを避けるため軒を出しているのもポイント 2. 坪庭と対する南側の開口(窓)はリビングと和室に。間仕切り戸や窓を開けるとウッドデッキまでつながる大空間 3. リビングから北の坪庭を見る。静かで存在感のある庭は、空気を少し冷やして室内へ取り込み役も 4. 北側のウッドデッキに接する洗面・脱衣室。坪庭からアクセスできる勝手口があるので、庭仕事の後も室内を過らず浴室へ直行できる。もちろん、収納もたっぷり！ 5. 板壁が印象的な主寝室。ここを介して家のなかをぐるりと一周できるので生活動線もスムーズ。また、洗濯干し用のウッドデッキも備えている

■Data

家族構成 ●夫婦+2男  
 積 ●土地面積468.68㎡(141.78坪)  
 延床面積165.67㎡(50.11坪)  
 1階156.65㎡(47.39坪)  
 ロフト9.02㎡(2.73坪)

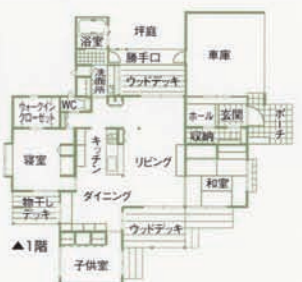
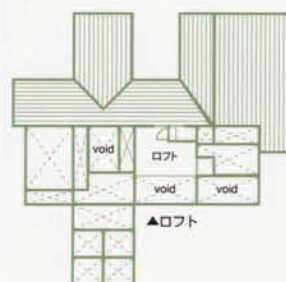
用途地域 ●無指定  
 構造 ●木造軸組在来工法  
 建ぺい率 ●36.2%(50%)  
 容積率 ●29.2%(80%)

■Schedule

設計期間 ●約6ヶ月  
 工事期間 ●約6ヶ月

こんな家が欲しかった  
私たちが希望した  
3つのこと

1. 平屋建て  
どこにいても家族の気配を身近に感じられるよう、開放感のある平屋建てに
2. 明るく風通し良く  
建物を十字形にデザインすることで、通風と採光を無理なく実現した
3. 家族で楽しめる菜園  
庭には家庭菜園を配置。子どもたちも楽しみながら畑仕事を手伝っている



メーカーからのひとこと  
 建築工房 自然木  
 代表取締役  
**村田 義弘**さん

リビング北側を坪庭とし、南北共に掃き出し・ウッドデッキとしました。雨の日も開放出来るよう、軒も深く出しています。アプローチ、車庫からも見える坪庭が、敷地に落ち着きのある質感と奥行きを与え、内部の住空間と周辺の環境との一体感を確保しています。

建築工房 自然木(じねんもく)

- 鹿児島市永吉2-29-3  
TEL 099-812-5701  
FAX 099-812-5702
- 建設業許可番号/鹿児島県知事許可(般-19)第14664号
- 取扱業務/注文住宅、リフォーム、店舗、マンション、ウッドデッキ等ガーデンリフォーム、植栽工事、古民家再生
- 取扱工法/木造軸組在来工法、コンクリート木造軸組混構造、RC造、鉄骨造